1 日 時 令和7年2月20日（木）午後7時から午後9時

2 場 所 東淀川区役所3階 304会議室（Web併用）

3 出席者の氏名

（東淀川区区政会議 教育・健康・福祉部会委員）

田原 佳織議長、上原 雅子委員、大野 智子委員（Web参加）、阪本 淳委員、中土 洋子委員（Web参加）、中西 みゆき委員、松田 淳子委員、光本 陽子委員、宮脇 大委員（Web参加）、渡邊 裕美子委員

（東淀川区区政会議 安全・安心・まちづくり部会委員）

宇田 聖司委員

（東淀川区選出市会議員）

石川 博紀議員、橋本 まさと議員、森 慶吾議員、ますもと さおり議員

（大阪府議会議員）

笹川 理議員、横道 淳子議員

（東淀川区役所）

原保健福祉課長、大谷子育て企画担当課長、宮本総合企画担当課長、福田保健福祉課長代理、辻井子育て企画担当課長代理、福田地域福祉相談担当課長代理、小谷保健担当課長代理、上井教育担当課長代理、仲間地域包括ケア推進担当保健主幹、前嶋保健福祉課担当係長

4 委員に意見を求めた事項

議題（1）令和7年度東淀川区運営方針（案）について

（2）その他

5 議事内容（発言者名及び個々の発言内容）

○前嶋係長 令和6年度東淀川区区政会議第2回教育・健康・福祉部会を開催いたします。

ユーチューブでも中継させていただいております。

委員の皆様におかれましては、お忙しいところ、また、夜間にもかかわらずご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

私は、本日、司会進行を務めさせていただきます東淀川区役所保健福祉課、前嶋でございます。よろしくお願いいたします。

本日は、オンライン会議も併用しての開催になります。ウェブで参加の委員の方、聞こえておりますでしょうか。

本日の部会は21時までの予定としておりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

大阪市では、分権型教育行政を進めていくため、教育関係施策等について保護者及び地域の皆様からのご意見等をお伺いするための会議を組織することとしておりますが、東淀川区におきましては本部会がその趣旨に該当しますことから、本部会を教育会議を兼ねての開催と位置づけております。教育・健康・福祉部会の委員の方には、教育会議の委員を兼ねていただくこととなりますので、ご了承ください。

それでは、開会に当たり保健福祉課長の原よりご挨拶申し上げます。

○原課長 皆様、こんばんは。保健福祉課の原です。いつも大変お世話になっております。

本日はお忙しいところ、夜間にもかかわらず、また、非常に寒い中お越しいただきまして、誠にありがとうございます。今日は狭い場所での開催となっておりますが、ご協力よろしくお願いいたします。

今回は11月の意見聴取会でのご意見を踏まえまして、令和7年度運営方針を策定してまいります。運営方針の今回お示ししております案につきましては、区役所からまず説明をさせていただきますが、意見交換の時間をできるだけたくさん取りたいと思っております。区役所からの説明は主に変更点を中心に端的にご説明させていただきます。ですので、ぜひ活発な意見交換をよろしくお願いいたします。

では、限られた時間ではございますが、最後までご協力よろしくお願いいたします。

○前嶋係長 では、本日ご出席の市会議員、府議会議員のご紹介をさせていただきます。

市会議員の石川議員。

○石川議員 自民党の石川です。どうぞよろしくお願いいたします。

○前嶋係長 橋本議員。

○橋本議員 橋本です。よろしくお願いいたします。

○前嶋係長 森議員。

○森議員 森です。よろしくお願いいたします。

○前嶋係長 ますもと議員。

○ますもと議員 ますもとです。よろしくお願いいたします。

○前嶋係長 府議会議員の笹川議員。

○笹川議員 よろしく申し上げます。いつもありがとうございます。

○前嶋係長 横道議員です。

○横道議員 いつもお世話になっております。よろしくお願いいたします。

○前嶋係長 議員の皆様には、条例の規定により区政会議に出席し、区政会議の議論に資する

ために必要な助言をすることができるかとされておりますので、よろしくお願ひいたします。

ここで、本日の定足数の確認をいたします。

本日は会場に5名の所属委員にご出席いただいております。本日の会議は、本会場にて5名、ウェブにて0名、合わせて5名の所属委員にご出席いただいております。出席者数が委員定数18名の半数以下となっております。現時点では区政会議ではなく意見聴取会として開催となります。ただ途中で委員様にご出席いただきましたら、また部会のほうになるかもしれません。その際はまたお伝えさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

本日の会議の様子については、会議録を後日公表するとともに、写真を撮影し、ホームページなどに掲載させていただくこともございますのでご了承ください。

会議録の案ができましたら、本日ご発言いただきました委員の皆様に発言内容をご確認いただく予定ですので、ご協力をお願ひいたします。

続きまして、お手元の資料の確認をさせていただきます。

机上に本日の議事次第、配席図、令和6年度東淀川区第2回本会意見聴取会での意見と対応一覧、付箋を配付しております。配付している付箋は後ほど行うワークショップにてご意見を随時ご記入いただくようお願いいたします。

事務局からお送りしました令和7年度東淀川区運営方針（案）、ワークショップシート、令和7年度東淀川区予算事業一覧はお持ちでしょうか。お持ちでない方がおられましたら挙手をお願ひいたします。

それでは、ここから田原議長に進行をお願ひいたします。

○田原議長　こんばんは。議長の田原です。

まず初めに、本日の会議の流れについて簡単にご説明します。

次第にあります議題について区役所から説明をしていただきます。説明が終わりましたら全体を通して各委員の皆さんからご意見を賜りたいと思いますが、内容についてより活発に議論いただくために一旦部会を休会にし、2班に分かれてワークショップによる意見交換会をしていただきます。会議再開後に各班で出た意見を発表していただき、区役所から対応方針等を説明していただくという流れで行きたいと思ひます。

なお、本日の会議内容は3月19日の本会で私から報告する予定です。

それでは、区役所から説明をお願ひします。説明中にお気づきの点があればワークショップシートに随時ご記入ください。

○宮本課長　すみません、総合企画担当課長の宮本でございます。

私から、運営方針なんですけれども、前回のたたき台から今回案になっているんですけれども、その間に1点大きな修正がありまして、と申しますのが2月2日に運営方針を取りまとめている市政改革室という部署があるんですけれども、市政改革室から通知がありました。その

内容というのが区民アンケート、アウトカム指標の中に区民アンケートが使われているところがあるんですけども、区民アンケートを運営方針のアウトカム測定に用いることは望ましくないというようなことでした。

そこで、当区の運営方針のアウトカム指標を前回お示したたたき台から幾つか修正をさせていただいております。その通知の内容というのは、区民アンケートに関して情報公開請求されている方がいらっしやいまして、その方がその公開内容に対して不服の申立てをされていたんです。その申立てに対して昨年12月20日に大阪市情報公開審査会の答申がありまして、その答申の中で審査会の意見として、区民アンケートは学問的な検証が行われていないとの心証に至ったというものでした。この答申の中でこれらのアンケート結果を運営方針の目標達成の判断材料に使用することは区民の代表性を有しているような誤解を招くおそれがある。要は区民皆さんがそう思っているというふうに誤解されるおそれがあるということで、運営方針のアウトカム測定に用いることは望ましくないと考えたというものでした。

ただこれはアンケート自体、アンケート全てを否定しているわけではなくて、この区民アンケートのやり方に課題があると。その区民アンケートを取ることによって区民全体がそう思っているやろうというふうに思われるというような指標の使い方はよくないよということですので、講座に参加した方などに限定して対象者を絞ったアンケートというようなものまで否定しているというものではないというものになります。

この通知を受けて先ほど申し上げましたように、アンケートを用いていたものなどについて幾つかの項目でアウトカム指標を修正しておりますので、そこをまず最初にお話しさせていただきます。

私からは以上です。

○大谷課長 すみません、そうしましたら、引き続きまして私のほうから、運営方針の経営課題2に関わっている部分の前回からの変更点につきましてご説明のほうをさせていただきます。

運営方針（案）の4ページになりますけれども、こちらのほうをご覧くださいませでしょうか。

まず、2-1に関しましては、子育て応援事業に関しての具体的取組の表現を一部変更しております。4ページの右側、具体的取組の一番下の丸ですけれども、子育て応援事業のところをご覧くださいませでしょうか。

こちらのほうの末尾のところなんですけれども、前回までは講座を実施するということとどまっていたんですけれども、よりこの事業の意図するところを明確にしようと考えまして、この事業の目的であるところの子育て家庭の孤立を防止するというような取組に修正のほうをさせていただきます。

また、アウトカム指標のほうですけれども、こちらのほうも前回までは講座参加者のアン

ケートの満足度という部分で評価を図っていこうというように考えていたんですけども、こちらにつきましても、より客観的なデータは何かないかということで改めて精査させていただきました。一部変更をさせていただいております。

具体的に申し上げますと、赤ちゃんが生まれまして3か月になれば、3か月の方を対象にした3か月健診がございまして、こちらのほう対象児の方の約98%、ほぼ全ての方が受診いただいているんですけども、その際に保護者の方全員に質問する項目の中で、子育ての相談者・協力者の有無を聞いております。ここで相談者または協力者がいるというご回答されたご家庭については、基本的には孤立していないという評価をしようと考えました。ですので、この3か月健診を受診された際に相談者または協力者がいると回答した方の割合をデータで見ますと約93%でしたので、これより高くなれば子育て家庭の孤立を防ぐことができたというふうに考えまして、こちらのほうに記載させていただいておりますように、この事業に参加された方の中で相談者または協力者がいると回答された方の割合を95%以上にできれば目標を達成というふうに考えることができるのではないかと考えまして、こちらに記載させておりますように、令和8年度末までに95%以上というような目標を設定させていただいております。

続きまして、変更点ですが、ページ飛びまして6ページのほうをご覧くださいませでしょうか。

こちらのほうのアウトカム指標のところに区民アンケートのデータのほうを活用した指標につきましても、前回、1月の本会ときには記載させていただいておりますけれども、先ほど宮本のほうからの説明にもありまして、区民アンケートについては使うべきではないというふうなご指摘もありましたので、その部分を削除させていただいております。

変更点につきましては以上でございます。

あと、資料2のほうですけれども、予算一覧のほうになりますけれども、この運営方針の経営課題2に関わる事業につきましては、番号でいきますと12番の子育て支援事業から19番、子どもサポートネット事業のところまでがこの経営課題2の担当となっております。主な事項につきましては、運営方針の中で掲載させていただいておりますので、詳しい説明のほうを割愛させていただきます。よろしく願いいたします。

○原課長 続きまして、保健福祉課、原です。

経営課題3について変更点を説明させていただきます。

先ほど総合企画担当の課長の宮本から区民アンケートの取扱いについては説明させていただいたところですが、その区民アンケートで指標を評価している項目を外したというところが今回の変更点になっております。

具体的にいきますと、経営課題3-3をご覧ください。

困りごとを受け止めるつながりがあるまち、経営課題3になるんですけども、こちらのアウトカ

ム指標ですが、これまでの運営方針では、区民アンケートで区役所窓口の認知度を図ることを指標としていたんですが、先ほどの課長の宮本からの説明により削除しております。

続きまして、経営課題3-4をご覧ください。

いきいきと暮らす健康づくりに取り組むまちというところですが、こちらも同じ理由でこれまで健診受診の体力づくりに取り組んでいるというアンケートの項目を削除した指標を削除いたしまして、いきいき百歳体操の指標を残しております。

変更点については以上です。

○田原議長 ありがとうございます。

では、皆様から議題についてご意見を賜りたいと存じますが、一旦非公開にして今回はお手元のワークショップ用シートに令和7年度運営方針（案）へのご意見をご記入いただきたいと思います。今回いただいた委員の皆さんからの意見については、区役所にて集約し、3月19日開催の本会議で区役所から説明があります。それを参考に4月に公表する運営方針に反映していくとのことですので。

本日中にお書きになれない場合には、2月27日までに記入したシートを総務課（総合企画）まで提出いただければ次回の部会まで反映することが可能とのことですので、慌てずご記入いただければと思います。

ウェブで参加の方はおられますか。

○田原議長 おられますか。

なお、ウェブで参加されている方については、チャットにてご意見をご記入ください。

ここで、区政会議教育・健康・福祉部会は一時休会させていただきます。

20時10分頃再開いたします。

（休 会）

○田原議長 それでは、これより区政会議を再開いたします。

ここで事務局から連絡事項があります。

○前嶋係長 今、本会場にて7名の委員の方へ出席、あとウェブで3名の方へご出席いただきまして、合わせて10名の所属委員にご出席していただきましたので、出席者数が委員定数18名の半数以上でありますので、この会議は有効に成立していることをご報告させていただきます。

○田原議長 では、各班で出された意見等についてリーダーの方から発表していただきます。

会議録のことがございますので、まずお名前を名のっていただいた上でご発言いただきますようお願いいたします。

まず、A班から10分程度を目安にお願いします。

小松地域の田原です。よろしくをお願いします。

私からは経営課題2についてです。

ちょっと令和7年度の案ということで、たたき台からの案ということで予算も出ていますので、どちらかという令和6年度、令和5年、6年の部会で出た意見とか回答というのがよいほうに反映されていたらいいなという話になっています。

ちょっと最後まとめますので、先に個別で出た意見を申し上げます。

主に経営課題2-3、こどもが自立して「生きる力」を身につけるために取り組むまちということで、図書室の司書さんの各校の配置ということと管理栄養士さんを各校に配置してほしいというご意見が出ました。やはり食育という面で朝ご飯を食べない児童生徒が多い学校というのはやはり学力が低いという結果が明らかに出ております。やはり小さい頃から食育といって朝ご飯やしっかり食事を取ることの大事さというのを伝えていかないと、大人になってやはり朝ご飯食べなくてもいいやとそのまま子育てするようなことになると思いますので、少しでも食育のプロフェッショナルということで管理栄養士さんを確保、配置していただきたいという意見が出ました。

あと、まだ2-3ばかりなんですけれども、分権型教育の推進というところで、まだ予算がついていないというのはなぜですかということですね。

あとは、学校協議会の内容というのは区政委員会内で共有できないかというご意見が出ました。やはり知る権利じゃないですけども、やっぱり知らないとこちらも意見が言えないと思いますので、こちらのメンバーで学校協議会の委員をされている方もおられて、私たち今していない者にとってもそういう意見は、どういう意見が出ているか、どういうことが困っているかというのをもう少し知りたいなと思いました。

あと教育環境の充実について、教育環境とか読書環境の充実に向けて立案段階から施策・事業等の意見を把握し、適宜これを反映させるということが書いてあるんですけども、地域や学校協議会からの意見、ニーズに応じた教育施策・事業の実現を目指すと書いてあるんですが、今からということですけども、もうちょっと以前にどういう感じで反映されてきたかという過程とか結果というのを教えていただけたらなと、具体例というのをもう少し知りたいなというのがあります。もちろん個人情報を守る範囲内でしていただけたらと思います。私たちも意見を出すにしても結局同じ意見で、こうしてほしい、ああしてほしいということは言えるんですけども、やはり具体的などういふことでニーズが出ているのか、意見が出ているのかというのでどうやって反映していただいているかというのをもう少しお知らせいただけるとありがたいです。やはりこの中で区役所に意見を言える部分というのと、結局これを市に上げる、市で言ってもらわないといけないという案件は結構あると思うんですよね。そういう意見も言い続けないと困っていない、困っていないのと同じということに思われてしまって、また結局誰かが言うまでその意見は見えなくなってしまうと思うんです。私、支援学校でPTA会長をやっていて、府のほうでずっと意見とか要望をし続けてきたんですけども、私ももちろんす

ぐに変わるとは思っていません。でも実情というのをもっと反映していただきたいなと思っています。本当に卒業してからやっと変わったということもたくさんあるので長い目で見ていきたいなと思っていますけれども、その中でも子どもたちは特に困っている状況が多いご家庭も結構小松地域でもありますし、ほかの地域でもお聞きしています。なので、そういう子どもたちのこともやっぱり考えていただきながら、運営方針とか経営課題というのをつくっていただきたいなと思いました。

以上です。

○光本委員 よろしくお願ひします。公募の委員です。光本です。

経営課題2-1から発表します。

母子手帳を発行した際に大阪市のLINEにつながる機会にするという取組をやったらいいんじゃないかという意見がありました。このLINEというもの、私はちょっと中身、内容は知らないんですけども、非常に大変情報が多く充実しているそうです。また私も後で拝見したいと思います。

子育て応援事業なんですけど、これは私が個人的にとてもしつこく言わせていただいているんですけども、孤立化を防止するとおっしゃいますけれども、家族を伴ってこの講座に参加できるニーズというのはそもそも孤立していないんです。であるから、家族を伴ってこの講座に参加できない層にどのようなアプローチをするのかということが孤立を防止するのであれば重要なんです。そのことをもう一度明確にお考えをご説明いただきたいなと思います。

経営課題2-2です。青少年大会、これについていろいろ様々な意見がありました。特にこの大会の意図・意義というのが明確でないことで、この大会の情報などが子育て世帯に伝わっていきにくい、また、参加された方ももう一度参加したいなという思いを持ちにくいんじゃないかという意見がありました。私もこの青少年大会、東淀川区の保護者として過ごしていますが、ほぼ知りません、内容を。やはり呼びかけであるとか、情報共有に偏りがあるんじゃないかなと思いました。

経営課題2-3です。これは私、光本の意見です。このアウトカム指標なんですけれども、ほか全般にこの経営課題に係るアウトカム指標になぜこの課題がこの事業の成果となろうかという不思議さがやはりあります。例えば自尊心、校長が満足したらなぜ成果なんですかと、非常にその成果を区民が、子どもたちが、保護者が実感できそうにないなという印象を持ちました。

私もここでほぼ1年間委員を通しましてやはり気になることがありまして、今回、この会議の資料を作成くださいました各課それぞれに向けて質問したいんですが、本会会議に提出された資料について、この資料を作成するにつき、区政委員の意見を役立てた箇所があれば明示してください。そして説明ください。また、区政会議での委員の意見が区政運営に役立った、反

映されたということがあるのであればその具体例をご説明ください。張り合いになりますのでよろしくをお願いします。

これは率直に素直な質問なのですが、この教育・福祉・健康部会は区教育会議を兼ねているということで伺っておりますが、では、なぜ区担当教育次長は出席されないのでしょうか。区担当教育次長が出席されない教育会議が有効であるのかも添えてご説明ください。

以上です。

○松田委員 豊里の松田です。よろしくをお願いします。

経営課題3の内容についてです。福祉の観点からということで、福祉コーディネーターの認知度、少しずつ上がってきているんじゃないかなというような話も出てきました。意識して地域のコーディネーターさんがその地域のいろんな婦人会とかいろんな会議に出てくださって、ちょっと顔と名前、こんなんやっていますよというのをいろんなところでしてくださっているんじゃないかなというのは認知度を上げたいねというお話を続けてきた一つの形じゃないかなというふうに思っております。

あとは、いろんな分野にまたがるんですよね、やっぱり福祉と教育というのが。そこはちょっとまた後でまとめますけれども、その中で例えば学校と家庭と民生、その連携が取れている地域はものすごく取れているんじゃないかなというふうに思いますけれども、ちょっとそこが見えづらい、分かりづらい、本当に何度もお話が出ていますけれども、誰かの助けが必要やというふうになっているところにやはり手が届くようになるのは、地域の方々がちょっとお隣のお子さん大丈夫かなというようなことであったりとか、学校に行く年齢になっていない子に保育園も行っていない、幼稚園も行っていないというお子さんもいてはりますので、そういうところは地域のちょっとしたふだんの生活の中で感じ取れる何かをすくい上げていくということの大切さ、そこはやはり民生さんですとか、地域にいらっしゃる方のそういう声を上げていいんだよというようなお知らせといいますか、そういうのはできるんじゃないかなというふうには思っております。

あとはちょっといきいき百歳体操、うちらの中でもみんな大好きという話ですけれども、真剣にやると筋肉痛になるらしいですけれども、その中で100歳を健康で迎えようということですのすごく人気でして、70代はまだまだひよっこぐらいな感じの教室ですので、教室のサイズに限りがあるので、すごく人気でいっぱいになっていて、なかなかゆっくり手足を広げられないというような意見もありましたので、しっかりめの体操を希望される元気なシニアと、ちょっと椅子に座ってでもゆっくりでもいいから手足を伸ばしたいなというような世代の方々とを2部制にして分けていくのもいいんじゃないかなというようなお話も出ました。それに例えば時間とか、講師の方が2回やってくれはるのかとかいろいろあるかなとは思いますが、こういうのを続けていくことが大事ですので、70代から80代へと継続していくことのでき

る環境を整えるというのも大きな課題じゃないかなというふうに思っております。これから高齢化していきますし、大体この辺50代ですけれども、10年たったらちょっとシニアと呼ばれるという世代になっていきますので、そのときにそこはその地域で暮らせる、今のうちからその下地を整えていくというのは区政委員として言えることじゃないかなというふうに思っております。

あと、これはもうちょっとこの辺で出た意見なんですけれども、今こうやって経営課題2と3というふうに分けました。2の中でも1、2、3、経営課題3の中でもこういうふうにして分けましたけれども、生活が、そこで一個一個の課題ずつにこうやって分かれて考えるわけじゃなくて、この地域に越してきて子どもを産んで育てて、PTA会長もしましたし、今、学校協議会も出ています。その中でやっぱり思うことは、その子がよりよいあしたを迎えるために大人として、社会人としてどうしたらいいかなというところを持っている方々が今ここにいらっしゃると思うんですよね。そうやってなったときに2とか3とか、そういう課題を超えて考えていかないといけないことが本当は根本的な解決になるんじゃないかなというふうに思っております。ただそこにどういうふうにして予算をつけるかとなると、やっぱり課題ごとに分けてそこに予算をつけていかなあかんのんちゃうかなというのも分かりますけれども、本当に大切なことというのは、じゃ、どうその子を支えるか、家庭の力が弱い世帯も東淀川区は大阪一あるわけですよ。そこをどう支えていくかというところは、もう本当に私たちのちょっと足りない頭を使ってでもまだまだ議論されるところではないかなと思います。そこを本当に住んでよかったと思えるようにつながるようにしていきたいですし、この区政委員がそのための一つ、一石といいますか、そういうふうになればいいんじゃないかなというふうに思っております。

ですので、この区政委員、区政会議と例えば学校協議会、例えば民生の会議、いろんな区の会議、町内の会議みたいなものの横の連携を図ることがもう少しできたらいいなというのは、ちょっとこのまとめというふうにさせていただけたらと思っております。ありがとうございます。

○上原委員 菅原地域の上原と申します。

ここのグループでは、ちょっと地域福祉コーディネーターというのがどういった役割なのかというのが私も認識ができていなかったもので、もう一度、宇田委員さん、委員の方に説明してもらいながらちょっと理解を深めた感じではありました。やっぱり地域コーディネーターの認知度というのをもう少し私たちでも分かるような認知度をもう少し向上したほうがよりその支援につながる率が、今の時点でも令和5年で100%という評価としては上がっているんですけれども、やはりこれから次世代がこのコーディネーターとして活躍するに当たっても、認知度を上げ、どういう役割でどのように活躍することで地域につながってというのがもう少し明

確にあればコーディネーターという方が育っていくのではないのかなというのもちよっと感じました。

今回、今年度、認知度をアップさせるために広報紙等の活用や町会での啓発物の配付ということでその取組を追加されたということでしたので、この評価がこのアウトカム指標としての相談受付平均件数として令和5年度の3.57件がアップすれば、認知度としたら少し上がったのではないかなと評価はできるんですけども、宇田委員さんに確認したところ、今でも相談件数が多過ぎて17地域ある中で1人しか対応していないというところで、この相談件数が増えることによって対応ができるのかというところの問題も今後起きてくるかもしれないので、その時点でまたこの相談件数が増えてどのぐらい対応しづらかった、困ったかというアウトカム指標も出れば、そこは予算がついて地域としてもう少しコーディネーターを活用するということにつながるのではないかなということで、この認知度プラス、評価して今後のコーディネーター育成という点で取り組んでいただければということで話し合いが進みました。

あと経営課題3-2というところでは、この地域別保健福祉計画の策定ですかね、令和5年で7地域、そして8年度まで17地域ということで倍以上増やさなければいけないというところで、今の時点でちょっとこれだけ7地域しか広がっていないのを17に増やすにはどうしたらいいんだろうなというところで、もともと7地域ができていたのであれば、この7地域のひな形をこの地域でこうやっているんだからこういうふうにしてはどうかという例みたいなのを挙げれば、もしかしたら17地域、ここに自分たちの地域ではこういう人がいるからここを追加しようとかという話になればもう少しこの地域が広がって、できるところの地域ではやっぱり若い方の活用なのか、その地域によってはパソコンが有意義に使える方だとか、知恵とか知識がある方がきっとこの7地域にてつくることができているということを考えると、何か広げるのであればぜひひな形を提供して個別にこういう福祉計画がもう少しいろんな地域に広がればなどいうことを挙げています。

あと私の個人的な見解なんですけれども、3-4のところなんですけれども、いきいき百歳体操ということでかなりの受講率があるということだったんですけれども、ご高齢の方に100歳までいきいき元気に過ごしていただくというゴールはすごくいいんですけれども、じゃ、これから担う若者がどのぐらい健康寿命延伸への取組ということで、この特定健診だとか、そういう健診に興味を持って健康に100歳生きられるまでどのように取り組むようなまちづくりを担うのかということもアウトカム指標が出ていないのが少しちょっと寂しいなというところで、現行の必要な方へのアウトカム指標は十分だと思います。ただこれからのみんなが20代、30代、40代が本当に100歳まで生きられるのかという健康的な問題に対してのアウトカム指標もあればもう少しいいかなという、すみません、最後は私の意見なんですけれども、でした。

以上です。

○田原議長 ありがとうございます。

発表及び委員さんのご意見につきまして、区役所から対応方針等のご説明をお願いします。

○大谷課長 本当に貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。

特に分権型教育行政というか、そこの仕組みの部分についてのご質問、今回非常に多かったかなと思っておりますので、そのところはまた改めて整理させていただいて、できるだけ分かりやすくご説明させていただこうと思っております。

また、A班のほうでお話しもさせていただいたんですけれども、私ども区のほうでできることというのはやはり限りがございます、たくさん出していただいた意見、我々では解決できない部分もありますけれども、そういった意見につきましても必ず関係する局にはお伝えさせていただいておりますので、その点については引き続き取り組んでまいりたいと思います。

また、青少年の健全育成、広報の部分、周知の部分につきましては、これは申し訳ないです。まだまだ行き届かないところもあろうかと思っておりますけれども、その部分につきましては、引き続きいろんな方法とかを駆使してまいりたいと思っておりますので、またこんな方法がいいんじゃないかというのがあればご助言いただければまた検討もしてまいりたいと思います。

本当に今日は貴重なご意見ありがとうございます。

○原課長 皆様、どうもワークショップありがとうございます。非常に活発に時間も足りないぐらい議論していただきまして、具体的な提案もいっぱいいただいたところです。いただいたご意見に今この場で全てお答えすることはできないんですけれども、幾つかちょっと取り上げて説明できたらなと思っております。

母子手帳をお渡しするときに大阪市のLINEの情報提供をしたらいんじゃないかというようなご提案をいただきまして、大阪市のLINE、皆さん加入されている方もいらっしゃると思うんですけれども、いろんな行政情報であったりとか、催しの情報を大阪市であるものまたは東淀川区であるものがかなり対応、たくさん日々届けられるLINEですので、ぜひ母子手帳を受け取られた際にそれをきっかけとしてLINEにつながっていただいて、いろんな行政情報を得ていただけるように、そこは工夫のしどころはあるかなと思っております。

あと地域福祉コーディネーターのご意見もたくさんいただきまして、この認知度、少しずつ上がってきているんじゃないかなというご意見、でもやっぱりまだまだ次の世代を広げるためにも、育成のためにも認知度をまだまだ上げることが大事だよというふうなご意見をいただいたところです。

確かに今かなり固定して長い間、地域福祉コーディネーターのほうをさせていただいている方がほとんどで、それはそれで地域のいろんな情報も分かっているからしゃって相談にも入ってきているというのがあるんですけれども、確かに次の世代を担っていただく方のためにも地域福祉コーディネーターはこんな仕事だよということをまた引き続きしっかりお伝えしていこうと

思っております。

いきいき百歳体操がすごく大人気だということをこの場でお聞きしてすごくうれしいなと思っております。大阪市は特に介護予防のほうはすごく力を入れておりまして、それはもう全国の中でもかなり自慢できるところかなと思っております。コロナの最中はかなり開けないという時期が長かったんですけれども、コロナが明けましていきいきわくわく百歳体操のほうが開いております、年に1回、百歳体操のリーダーの方にお集まりいただいて、どんなやり方をやっているとか、そっちのほうはどんな感じみたいなことで情報交換をしております。ちょっとそういう会場が狭くて思うように体が動かせないというふうな情報も今いただきましたので、基本的には自主的な会なので工夫のしどころというあたりを情報共有しながら、たくさんの方に参加していただきたいなと思っております。

あと、地域別保健福祉計画のこともご意見いただきまして、ひな形をいろんなところで示したらすごくいいじゃないかというようなご意見、なるほどなと思いついておりました。出来上がった、社会福祉協議会が結構支援をしてくださって策定をした地域が幾つかあるんですけれども、そちらは結構似たような様式になっておりまして、見ていただいたら、こんなあっさりとしたのでいいのかというぐらいつくりやすいものになっておりますので、計画をつくるのはすごく大変そうというふうに思っている方もたくさんいらっしゃると思いますので、地域福祉コーディネーターの会議であったりとか、その他の会議なんかでそういうひな形も示しつつ、令和8年度までに全ての地域で作成していきたいというふうな目標を掲げておりますので、達成できるようにこれからも努力していきたいと思っております。

ちょっと全てにお答えできておりませんが、これで私の説明とさせていただきます。ありがとうございます。

○田原議長 ありがとうございます。

本日の内容を3月19日の本会で私から報告します。

ご出席の議員の皆様よりご助言などございましたらお願いできますでしょうか。

○橋本議員 すみません、お疲れさまです。市会議員の橋本です。

今日は雪も降る中、すごい寒い日でしたけれども、遅い時間帯にご参加いただきまして、皆さんありがとうございます。また、ウェブでのご参加もいただいた皆さんもありがとうございます。最後、定足数にも達したということで、少人数の中でいろんな、だからこそディスカッションができたのかなと思っております。すごいよかったんじゃないかなと思いますし、感謝もしております。

ただいつも言っていることは一緒なんですけれども、ちょっと厳しいめの意見を区役所のほうにさせていただきたいと思っております。やっぱりこの区政会議、またこの部会に当たって区政の運営方針を決めるに当たって、区の皆さんに、委員の皆さんに来てもらって参加してもらおうと

いうことは区役所側のほうに責務がある中で、出席数が半分にいたり、いかなかったりというのは、これは私よくこの話をして誤解をちょっと与えているかもしれないのでもう一回お伝えしますと、出席しない方が悪いとかどうとか全く思っていないんですね。開催する側のほうが来てもらえるような魅力的なものにしなければいけないと思っています。

という中で、やっぱりこの区政会議、またこの部会の在り方というものをやっぱり、もう年度もまた変わりますし、抜本的に見直していただきたいというのが思いとしてあります。やはり私も3年ぐらい参加させていただいていますけれども、ちょっと本当に悪い言い方をすれば毎年同じようなやり方で、多分マンネリ化じゃないんですけれども、新鮮味みたいなところも含めてあるいは最後公募委員の方からお話があったようにどれだけ意見が反映されているかというところの手応え感のなさも含めて、やっぱり参加した人がさらにまた参加しようというふうになっていないというのが事実だと思います、現状も。

という中で、委員の方たちにこの日出席できますか、大丈夫ですかと日程を確認されながらこの日程が決まっているとは理解しているんですけれども、発想をちょっと逆方向に変えていただきまして、逆に言えば参加委員の人たちが日程を調整してでもこれに参加したいと思えるような、例えば変な話、こどもの運動会とかだったらみんな仕事の調整をしても行くんですよ、何か月、3か月先ぐらい予定されて。そういうふうな区政会議とか部会にどうしたらできるかということをお役所の方に考えていただかないと、多分この区政会議というのは本当に、ためのための会議みたいな形になってしまって、本当に区政の発展に真に貢献していかないと思います。

ですので、前の部会と会議のときにもお伝えさせていただきましたけれども、例えばこういう会議とかをファシリテートするのをプロにされている民間の団体とか会社さんもあると思いますし、そういったところにアドバイスを得たりしていくということなんかは考えていただきながら、ぜひ区政会議を魅力的なものにして、出席数なども取らなくても見れば分かるよねというような、そういった形につなげていただきたいと思いますと思ひまして、これはいつも言っていることで本当に恐縮なんですけれども、改めてやっぱり検討していただければなというふうに思います。

すみません。助言でも何でもありませんけれども、意見をさせていただきました。ありがとうございます。

○ますもと議員 市議員のますもとでございます。長時間にわたり会議お疲れさまでございます。ありがとうございます。

私のほうからは、助言といいますか、今、全ての経営課題に関係はしてくると思うんですけれども、恐らく生活の質や人生の質というところで、大阪市としてはそういうQOLの向上というんですけれども、そういうのを掲げさせていただいてまして、そういった取組に向けて

様々な具体的な取組をしていただいているとは思いますが、例えば一つ例で取りますと、経営課題3-4の受動喫煙の防止や禁煙の啓発活動なども行っていただいているんですけども、一方で、愛煙家の方と吸われない方との共存というところも課題かなというふうに思っていて、具体的な取組も予算がなかなか大阪市はつかないというところも重々承知しているんですけども、じゃ、どうしていくのかというところを一緒に行政と民間の方とか、あと市民の方々と一緒に考えていって一つずつ課題を解決していけたらなというふうにも思っているんですけども、どの分野に注力すべきかというところも課題だと思いますので、具体的な施策というものを市として、行政として重要になるんじゃないか、何になるのかというところをしっかりと考えていただきたいなというふうに思います。

すみません、以上でございます。ありがとうございます。

○石川議員 自民党の石川博紀です。どうもありがとうございました。

いつもの区民ホールと違って、今日は隣から素敵な音色が聞こえながらのちょっと狭いがゆえにかえって膝を詰めて近いところでお話ができ非常にためになったところかなと感じるところでして、我々の立場からすれば今日皆さんからお聞きしたことをまた議会を通じて別のところから、区政会議ではこんな意見が上がったよと区役所が上に上げて、僕らはまた議会の立場からこんな意見があったんやというような形で幾つか複数のルートで話を上げていくことで今日ご意見いただいたことが1つでも2つでもかなうことにつながれば、また、区政会議に来たいと思ってもらえる場になるかなと思うところで、橋本先生、頑張ってください。

今さら僕も不勉強ですみません、区教育会議を兼ねるという話についてなんですけれども、この場をもって区教育会議なのかあるいはメンバーが兼ねているだけで別にこの皆様は区教育会議に出てはるのか、それはどっちになりますか。

○大谷課長 立てつけとしては委員も兼ねられていますので、教育会議を兼ねて開催させていただいているという形になります。

○石川議員 分かりました。

それであれば区教育次長の区長がいてもいいんじゃないのかというのは言うべきかなと。

○光本委員 いいですか。

では、区教育次長がいない教育会議は有効なんですか、そもそも。

○石川議員 そこはまたちょっと別のところで今後また後で答えてもらうとして、いてもらっても当然いいと思いますし、いるべきだと思いますので、教育会議としての意見を出す場とはまた区政会議は違うという捉え方でいいんですかね、区政会議は区政会議で。

○大谷課長 そのあたりも含めて……

○石川議員 また、区役所の予算だけでなく、教育委員会の予算としても……

○大谷課長 基本的にはかぶっている部分が多いですし、実際にこの経営課題2-3のほうは、

区のほうで扱っています教育関係の予算についても今年度もさせていただいておりますので、基本的には議題については重なっているという理解の中で開催させていただいているというふうになりますけれども、また改めて説明させていただきます。

○石川議員 分かりました。

ということであれば、例えばゲストティーチャーというのが区独自の取組でやっていますけれども、今日、非常に多く意見が出ましたのは、図書室の司書さんですとかあるいは管理栄養士さん、またそれを常駐というのは難しくても東淀川区独自で例えばそれを派遣する事業とか、そんなことも可能なのかなと勝手に素人考えで思ってしまうところですがけれども、ぜひ今日皆さんから出た意見が理想を言えば常駐というところですがけれども、1つでも2つでも増やす方向につながればということで、今日、教育会議でそのような意見が出ましたのでよろしくお願いをいたします。

ありがとうございます。

○森議員 皆さん、お疲れさまです。公明党の森です。遅くまで本当にありがとうございます。

先ほど来、来たくなる出席したくなる区政会議という話題ですがけれども、我々のほうも会派を問わずやはり皆様のお声をしっかり聞いて、それを大阪市に議会に持っていくというところの使命感は強く持っております。1つというか、1つの一例として、例えば昨年9月、10月、秋に認可保育園の第1子の無償化というのを実現しました。これは会派を問わず今保育というのはとても大事なので、無償化をやってやってというのを我々どもが市長にずっと言っていてそれが実現したものです。

そのときに置き去りになったのが、認可外保育園がそのときに無償化になりませんでしたので、私は早速、ちょっと専門的にいいますと企業主導型保育園というんですけれども、それも第1子は無償化にするべきだということを言いました。これも今年実現する方向で市長が考えて計画をしてくださって動いていただいております。

それに関連して子育てとか出産というところでは、今、私が議会に申しているのは、無痛分娩に10万円の補助をしてほしいというのを言っております。これは東京でも既にやっております、ヨーロッパでは無痛分娩というのは母体に負担をかけないのでSDGsの一環として大変広まっております。今現在、大阪ではその10万円がもらえないので、要は一般分娩から無痛分娩を選ぶときにどうしてもお金がなくて、本当は無痛分娩を選びたいんだけど、一般分娩しか選べないという妊婦さんがいるという声を聞きましてSDGsもかなう、また、妊婦さんの母体にも負担をかけずに安全という観点から、こういったものも実現しようということで今議会で私も話をしておりますけれども、こういったことも全て皆様のお声を基に我々どもが考えている政策でございますので、本当にこういった場合は我々のほうにとっても大変必要な有意義な機会になっておりますので、しっかりと今後も皆様の声を議会に届けて形にしていける

ように頑張っただけですので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日は誠にありがとうございました。

○横道議員 府議会議員の横道でございます。いつも皆様には大変お世話になっておりまして、今日も遅いながらお疲れのところ本当にありがとうございます。

たくさん皆さん意見を出していただきまして、本当に言われているように皆さん、行政の方々が意見を少しでも反映、また、お返しできるように取り組んでいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私のほうも少し意見を聞く中で思っていたのが青少年の育成、区民大会ですね。あつたのは知っていたんですけども、所用で参加することができなくて、ただ子育てをしている一人の女性として情報を知っていたかという、やはりなかなか知る機会がなかったんじゃないかなというところと、あと出席したところで、あつたの知らなかったのという団体の本当やったら参加してほしかった方に聞いておられて、いや、聞いていなかったというようなことが耳に入ってきたので、また情報の提供ということでまた周知のご協力をお願いしたいと思います。

あともう一点がやはり健康というところで、100歳まで健康にというところで、これは大阪府の話なんですけれども、皆さん一人一人のことで健活10というところで百歳体操の中にも丘みどりさんがやっている体操があるんですけども、皆さんご存じですか、見たことがありますか。ないですか。やったことがあるんですけども、またぜひ座ってでもやっていたりとか、ちょっと上級者とか中級者みたいな形で分けてできるようになっているので、東淀川区でもまた参考に皆さんも続けて健康になって…。

○ 委員 何ていうやつですか、もう一回。

○横道議員 健活10という取組で、健活10ダンスという……

○ 委員 健康の健に活ですか。活動の活ですね。

○笹川議員 10です。数字の10。

○横道議員 丘みどりさんがやっていたんですけども、ぜひ私も覚えなないといけないなと思いつつながらまだ練習中ですので、すみません。アピールになりましたけれども。

すみません、時間取りまして、これで私のコメントとさせていただきますので、また今後ともどうぞよろしくお願いいたします。今日もありがとうございました。

○笹川議員 大阪府議会議員、笹川です。いつもありがとうございます。

今日は久々にワークショップ自体に入らせていただきまして、本当にありがとうございます。ここ何回か、何年間かワークショップを外から見ているという形でしたので、久々に入らせてもらって非常にいいご意見をたくさんいただいてありがたいなと思いましたが、そういったご意見を一つ一つ区役所の皆さんに考えていただきたいなというふうに思っています。ほとんど委員の皆さん、議員の皆さんからいただいたご意見というのは本当にそのとおりでいいと思う中

で、今日は入らせてもらって気づいたことがあります。

前はもっと区役所の職員の皆さんも一緒にワークショップに入られていた気がします。今の区政会議、ちょっと今回思ったのは、これは議会じゃないんですよ。だから役所の皆さん、議会と職員の皆さんというところやって対峙する仲になるのかもしれないけれども、区政会議というのは地域自治なんですよね。自治なので、役所の皆さんが委員の皆さんに何かを説明して承認をしてもらう場ではないというふうに僕は思っているんです。地域自治の基本は、行政はサポーターに回らないといけないというふうに思っています、本来の区政会議は委員の皆さんのご意見をどうやれば区政に反映できるかというための会議であるべきなんだろうなと思っていたのが、徐々に徐々にその意識が変わってきてしまっているんじゃないかなと。むしろ区政として区役所としてやっていることを区政委員の皆さんに認めてもらうような。で、少しご意見をいただくというような感じになってきているところに、やっぱり区政委員の皆さんにどこに反映されているんだとか、分類分けされ過ぎていて本当はこの、どうでもないところに課題を持っているんだとか、なかなかそれが言いにくくなってきているんじゃないか、言ってもどうしていいかが分からなくなっているのかなと思いますので、橋本議員がおっしゃられたようにちょっと抜本的に変わるというのであれば、それはこの区政会議が地域自治なので、区政委員の皆さんの意見をできるだけ反映するにはどうしたらいいかというのを一緒につくっている感をやっぱり大事にさせていただいたら僕はうれしいなというふうに思いましたので、ぜひ役所の皆さんにはそのあたりも、情報提供の仕方から出席されることのお願いの仕方もいろんなところでそういったところが出てくるんじゃないかなというふうに思いますので、僕からのお願いとして言わせていただきます。どうぞよろしくお願いします。今日もありがとうございました。

○田原議長 ありがとうございます。

本日の部会での議事は以上になります。皆様ありがとうございました。

ここからの進行を事務局にお返しいたします。

○前嶋係長 参加委員の皆様、ありがとうございました。

本日いただいたご意見を踏まえ、令和7年度東淀川区運営方針を策定してまいります。3月19日水曜日には第2回本会の開催を予定しておりますので、ご出席いただきますようよろしくお願いいたします。

これをもちまして、令和6年度東淀川区区政会議第2回教育・健康・福祉部会を閉会します。

本日はありがとうございました。